




# 高知県の天然あゆの状況について

 あゆの漁獲について

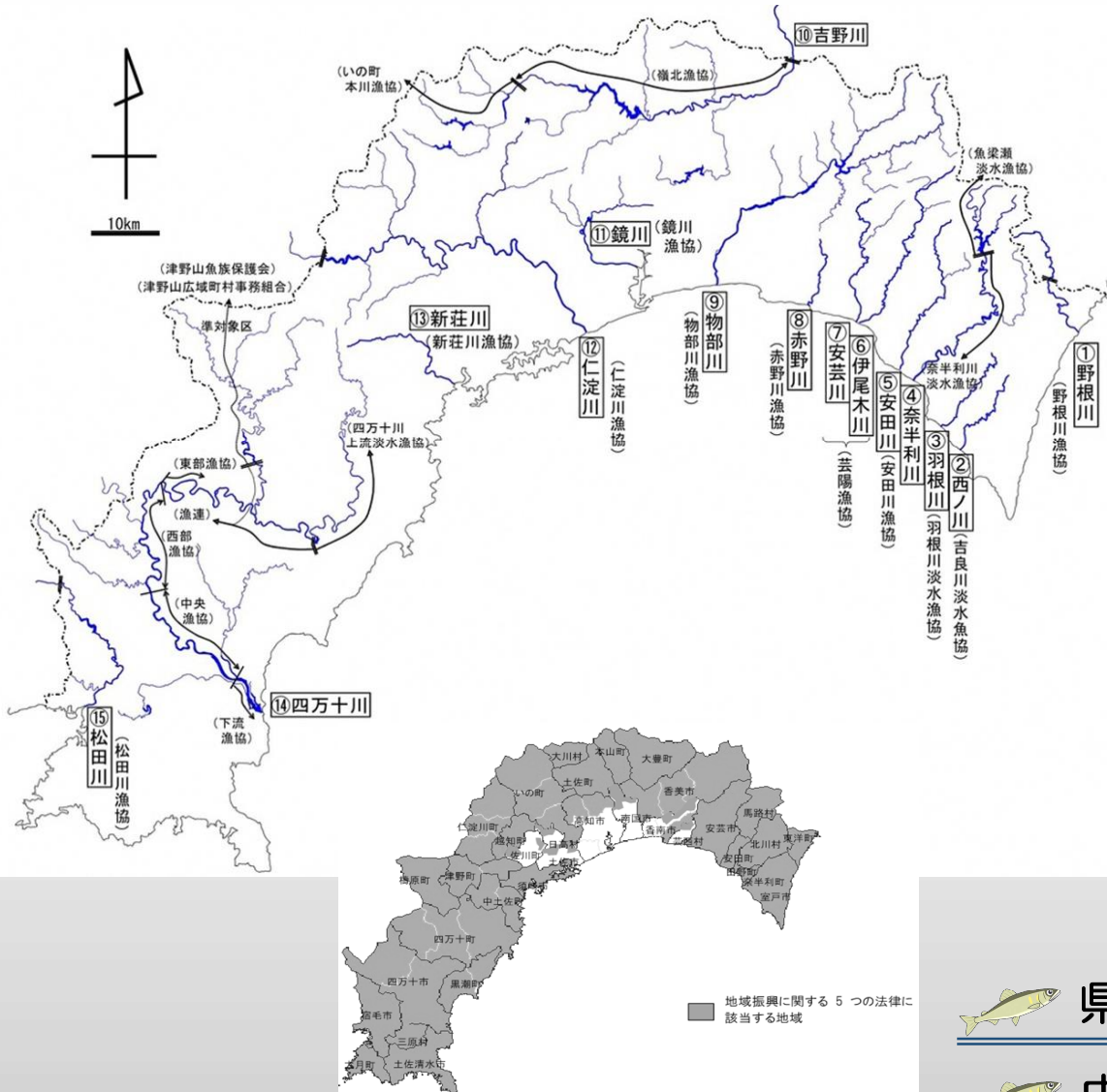
 あゆの流通について

 内水面の観光について

 県内外の取組事例



# 高知県における川と人との関わり



No.	河川名	流路延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )	流域人口 (人)	流域世帯数 (世帯)
1	野根川	14.3	48	1,287	645
2	西の川	15.9	33	1,276	548
3	羽根川	17.1	49	2,044	814
4	奈半利川	61.1	311	4,320	1,762
5	安田川	31.9	111	2,756	1,076
6	伊尾木川	42.9	140	1,371	571
7	安芸川	27.8	143	12,355	4,845
8	赤野川	14	32	2,551	842
9	物部川	70.5	508	14,000	5,556
10	吉野川	85.5	1,041	16,180	7,090
11	鏡川	31.1	170	116,164	52,287
12	仁淀川	74.4	990	86,874	32,416
13	新荘川	25.1	104	7,129	2,439
14	四万十川	196	1,862	94,796	37,379
15	松田川	35.4	134	6,703	2,482
合計		743	5,678	369,806	150,752

高知県全体	面積 (km <sup>2</sup> )	人口	世帯数
	7,105	796,292	324,439

高知県内水面漁場管理計画 (H24.3漁業振興課) より引用 (H17国勢調査)



県民と河川との関わり大きい



中山間地域と河川との関わり大きい

# 高知県とあゆとの関わり



伝統漁法：火振り漁




伝統行事：四万十川の落ち鮎漁

一条大祭の皿鉢料理  
正月用の保存食



伝統的・文化的になじみが深い

 あゆの漁獲について

あゆの流通について

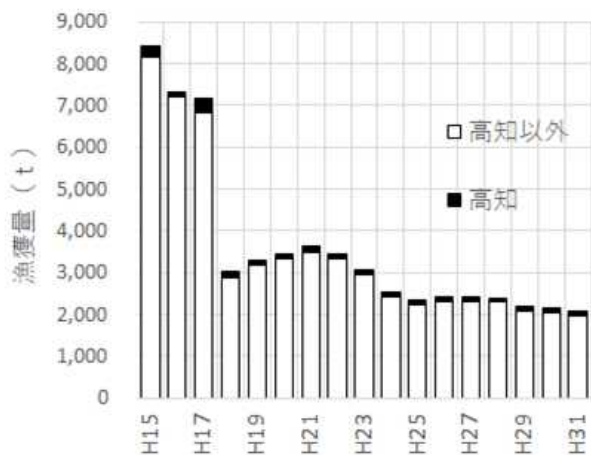
内水面の観光について

県内外の取組事例



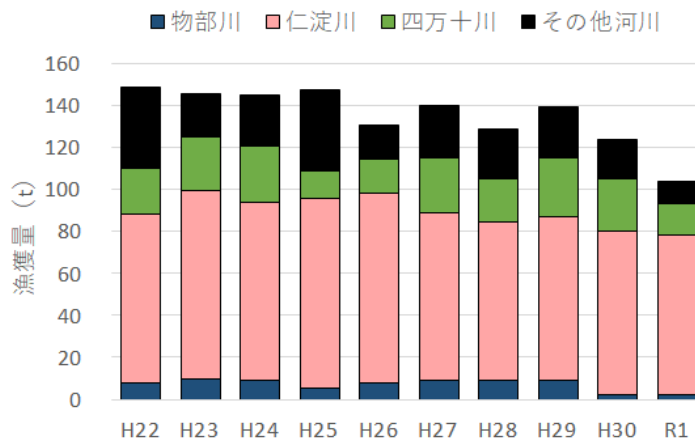
# あゆの漁獲量

## ◆全国のあゆ漁獲量



出典：農林水産省 内水面漁業生産統計調査

## ◆高知県のあゆ漁獲量





出典：高知県内水面漁業漁獲統計調査

## ◆全国あゆ漁獲量ランキング

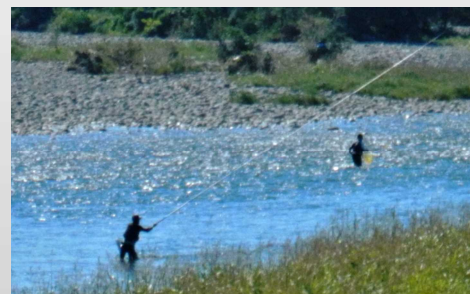
平成30年				
順位	県名	漁獲量 (t)	割合 (%)	
1	茨城	405	18.9	
2	神奈川県	367	17.1	
3	栃木	289	13.5	
4	岐阜	149	7.0	
5	愛媛	112	5.2	
6	高知	94	4.4	
7	大分	77	3.6	
8	富山	63	2.9	
9	熊本	35	1.6	
10	徳島	29	1.4	
全国合計		2,140		

出典：農林水産省 内水面漁業生産統計調査

 高知県のあゆ漁獲量は100～140トン

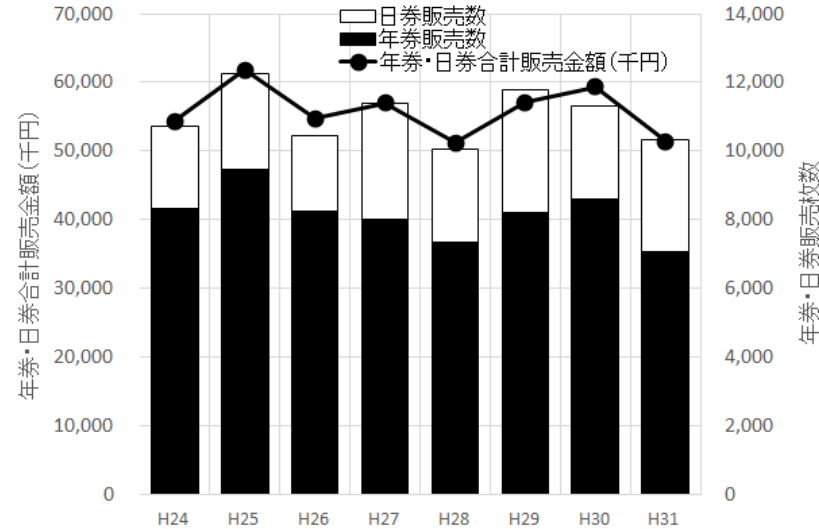
 仁淀川と四万十川での漁獲が多い

 全国では6番目に漁獲が多い



# 遊漁券の販売状況

## ◆高知県の遊漁券販売枚数・金額



## ◆全国あゆ遊漁券販売枚数ランキング

あゆ遊漁券合計			あゆ年券			あゆ1日券		
順位	都道府県名	枚数	順位	都道府県名	枚数	順位	都道府県名	枚数
1	岐阜	60,037	1	岐阜	18,496	1	岐阜	41,541
2	静岡	34,181	2	栃木	13,477	2	静岡	21,743
3	神奈川	19,478	3	静岡	12,438	3	神奈川	13,833
4	栃木	19,210	4	富山	8,410	4	新潟	8,774
5	群馬	14,000	5	高知	8,196	5	山梨	8,216
6	富山	13,888	6	群馬	8,144	6	岩手	7,403
7	新潟	13,765	7	和歌山	6,516	7	滋賀	6,881
8	山梨	11,985	8	神奈川	5,645	8	群馬	5,856
9	和歌山	11,660	9	福井	5,130	9	栃木	5,733
10	高知	10,567	10	新潟	4,991	10	富山	5,478
						22	高知	2,371

出典：2018年漁業センサス第7巻内水面漁業に関する統計

## ◆釣り人が選ぶ「天然鮎がのぼる100名川」

順位	県名	河川数
1	高知	10
	静岡	
3	和歌山	7
4	岩手	6
5	山形、新潟、富山	5

(財) 日本釣振興会



遊漁券は1～1.2万枚販売で売上5～6千万円



年券販売枚数は全国5位だが日券が少ない

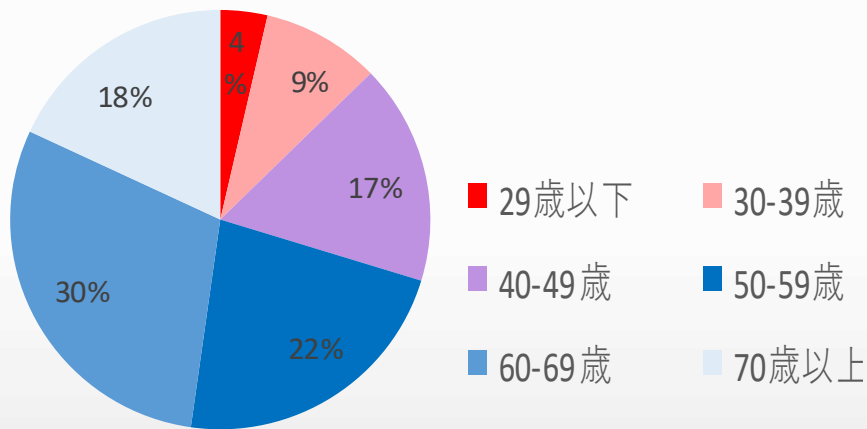


釣り人の認知度は高い

# 遊漁券の販売状況

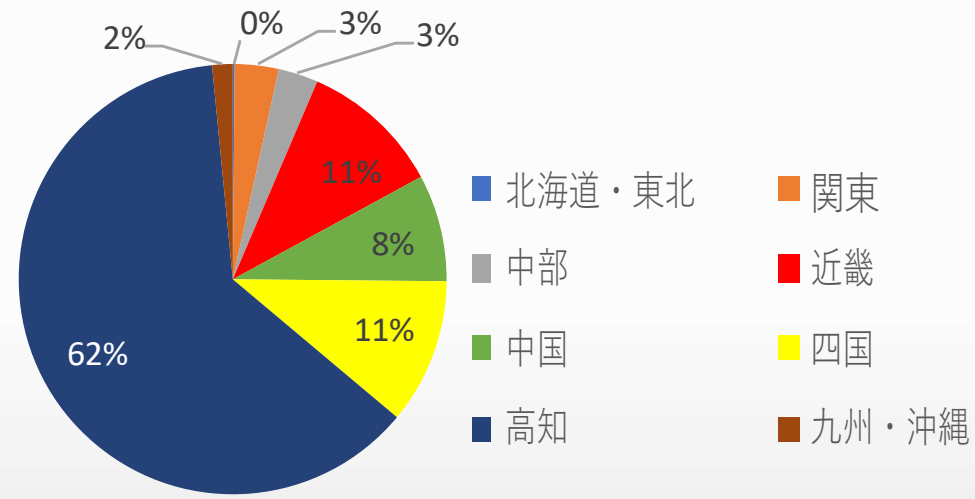
## ◆遊漁券購入者の年齢構成

2019年 (N=1,912)



## ◆遊漁券購入者の居住地構成

2019年 (N=1,945)




60歳以上が5割を占め、40歳以下は1割程度



県内6割、県外4割（県外は近畿、四国、中国が多い）

あゆの漁獲について

 あゆの流通について

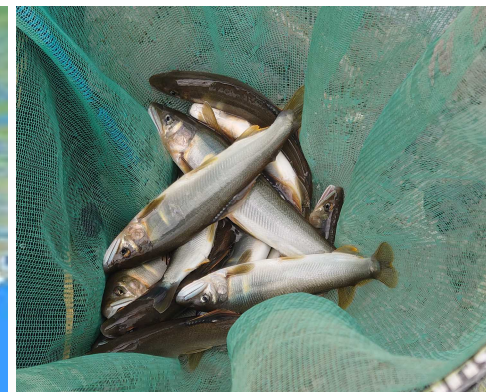
内水面の観光について

県内外の取組事例






# 県内のあゆの流通ルート



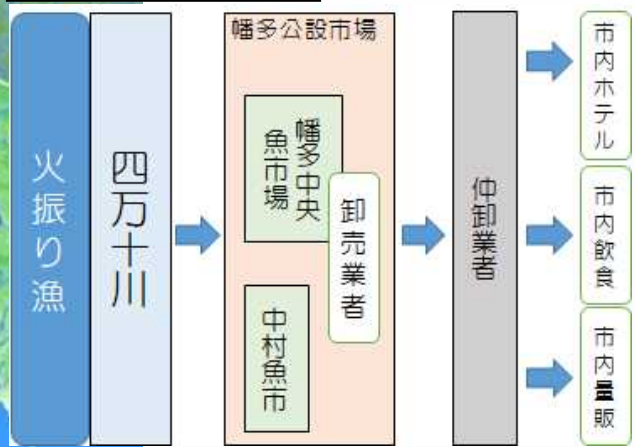
 主に6つの集荷拠点

 四万十川・仁淀川産が流通

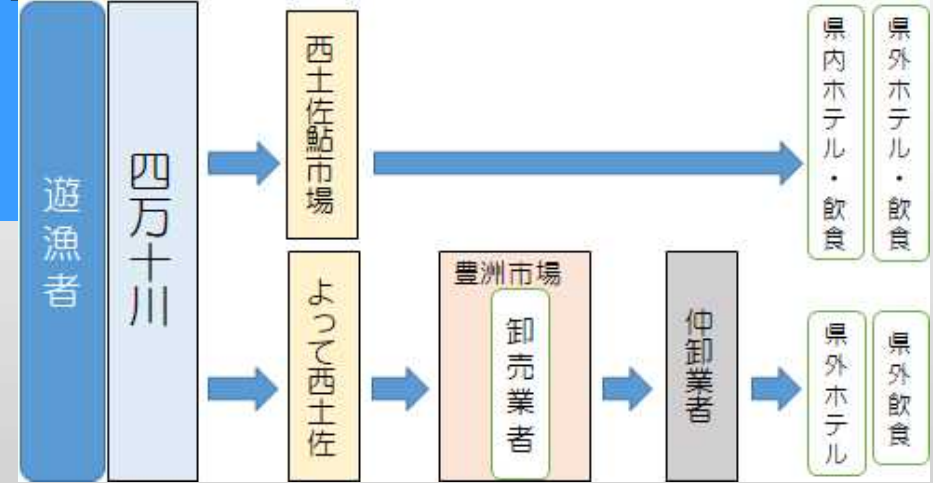
# 県内のあゆの流通ルート



## ① 幡多公設市場



## ② よって西土佐、西土佐鮎市場



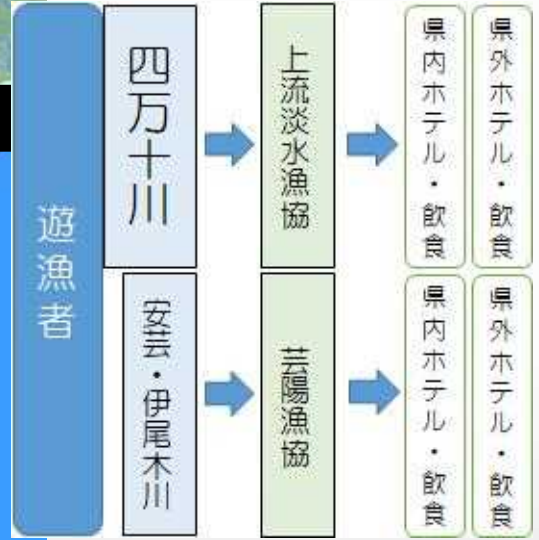
## ① 幡多公設市場

# 県内のあゆの流通ルート

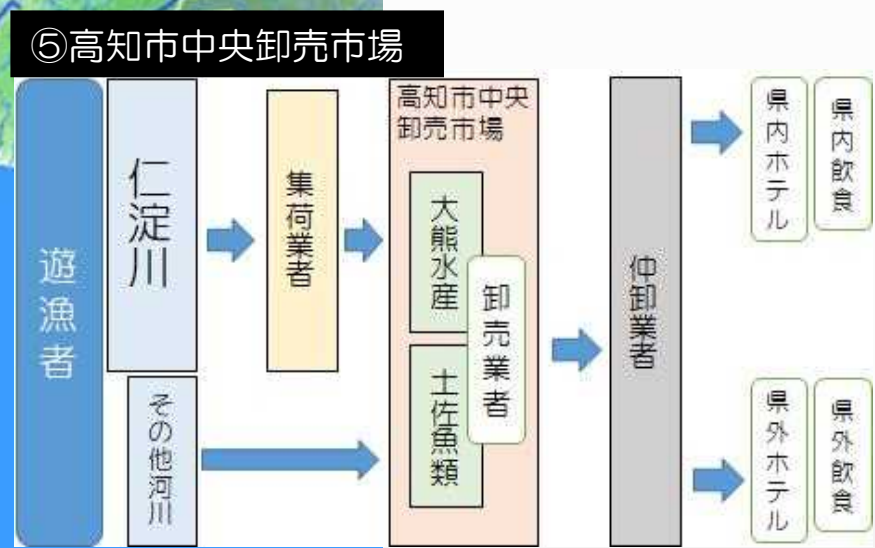


③四万十川上流淡水漁協

⑥芸陽漁協

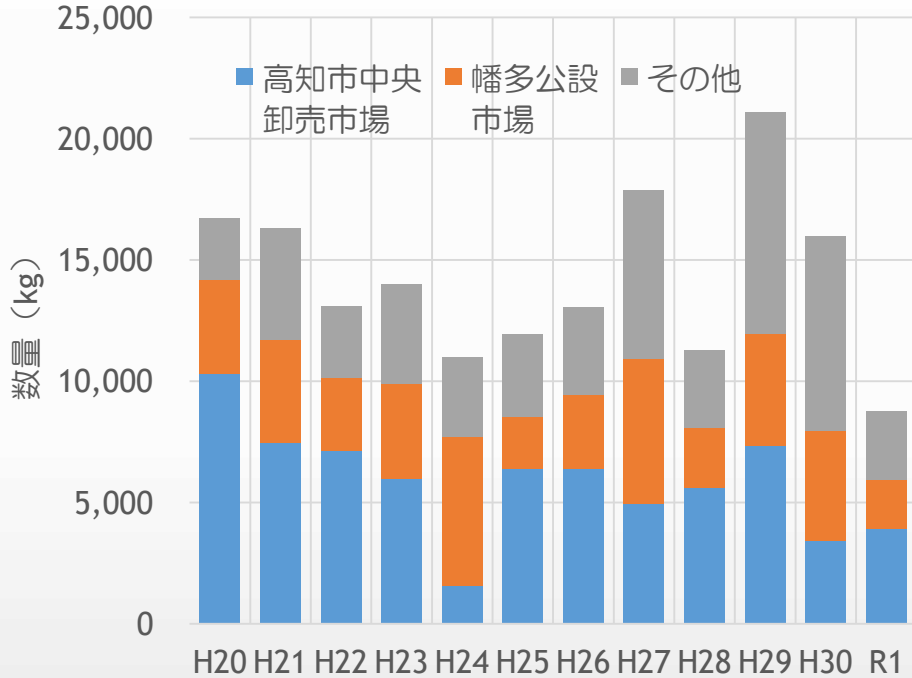


# 県内のあゆの流通ルート

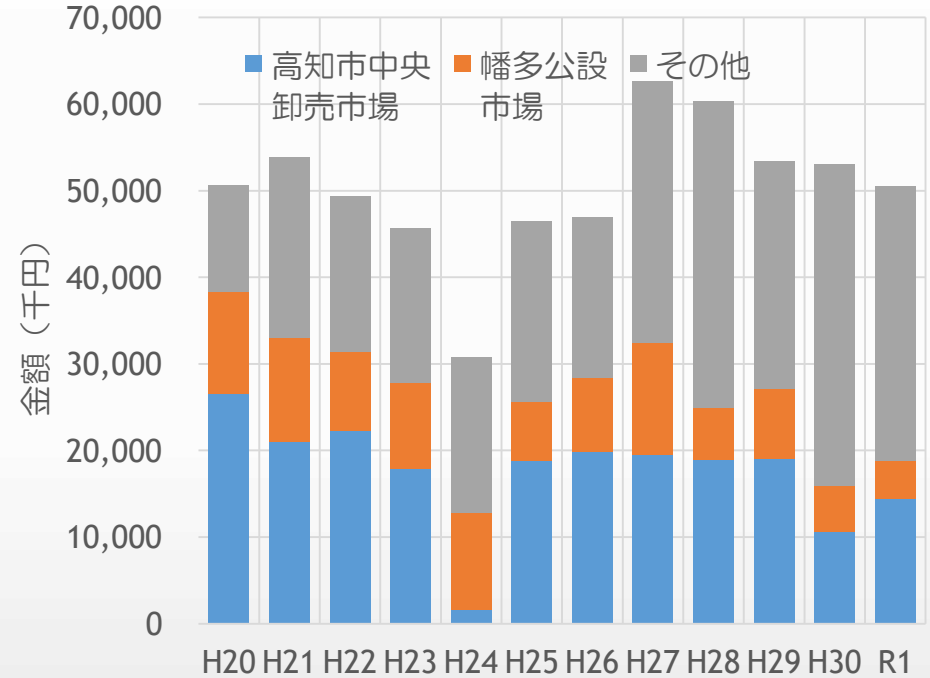


# 県内のあゆの流通量

◆県内6拠点からの出荷数量

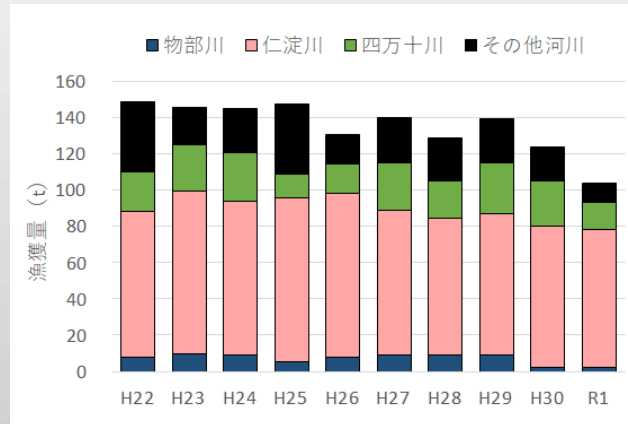


◆県内6拠点からの出荷金額



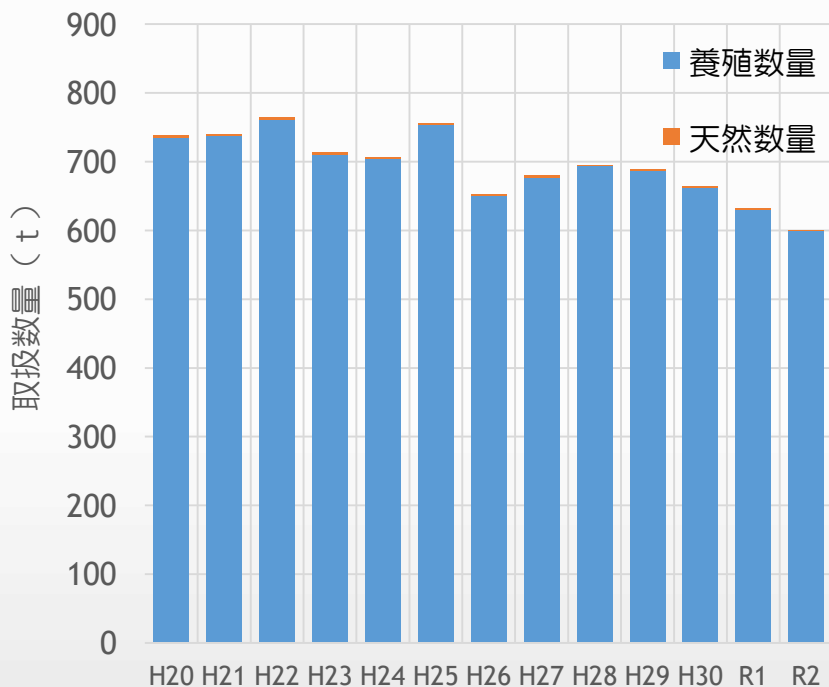
 **6拠点から県内外に10~20 t (5~6千万円) が出荷**

 **出荷量は漁獲量の10%程度**

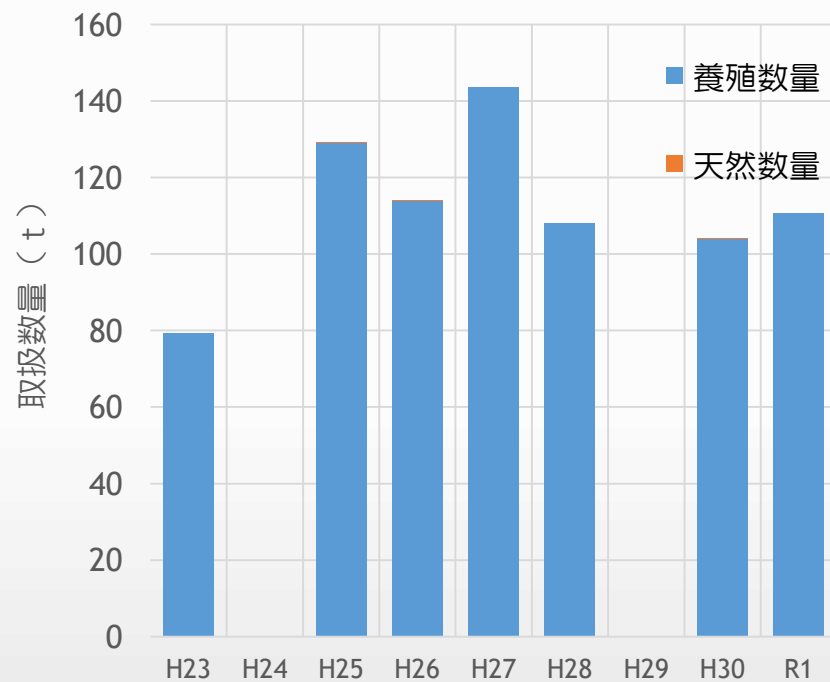


# 東京・大阪市場でのあゆの取り扱い


## ◆東京（築地・豊洲）市場でのあゆ取扱量



## ◆大阪府中央卸売市場でのあゆ取扱量



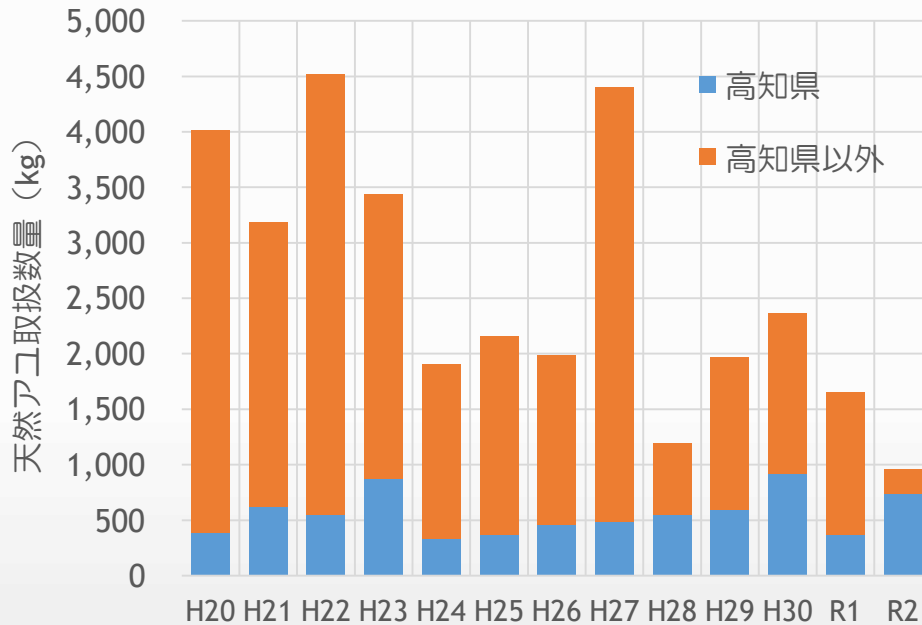
※キロ単価2,000円以上を天然と定義

 東京では600-700 t の取り扱い、大阪は取り扱い少ない

 天然ものの入荷量はごくわずか（東京で0.2-0.4%、大阪はほぼ0%）


# 東京市場での高知県産あゆの取り扱い

## ◆東京市場での天然あゆ取扱量の推移



 天然ものの取扱量は減少傾向

 高知県産のシェアは増加傾向

 R2は高知県産がランキングトップ

## ◆東京市場での天然あゆ取扱量ランキング

H29		数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)
1	広島	976	8,745	8,960
2	高知	595	4,601	7,733
3	熊本	189	1,604	8,485

H30		数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)
1	広島	1,102	9,439	8,566
2	高知	916	6,559	7,161
3	熊本	222	1,713	7,714

R元		数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)
1	広島	1,006	8,824	8,772
2	高知	373	3,070	8,231
3	熊本	164	1,226	7,477

R2		数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)
1	高知	735	5,329	7,251
2	広島	176	1,426	8,101
3	神奈川	15	60	4,018

# その他の県外への出荷

## ◆ふるさと寄付金人気ランキング (ふるさとチョイス\_川魚\_R3.6.23時点)

順位	出品者（産地）	種別	河川名	価格（寄付金額）	製品別	内容量
1	高知県安芸市	天然	安芸川・伊尾木川・安田川	6,000	冷凍	200g（3～6尾）
2	高知県いの町	天然	仁淀川	18,000	生	4～8尾
3	滋賀県大津市	天然	琵琶湖	10,000	一夜干し	5尾入り×10パック
4	秋田県由利本荘市	天然	子吉川	10,000	塩焼・冷蔵	2尾入り×3パック
5	島根県益田市	天然	高津川	10,000	CAS冷凍	300g（6尾）
6	岐阜県飛騨市	天然	宮川	40,000	冷凍	400g（5尾）
7	高知県仁淀川町	天然	仁淀川	22,000	冷凍	500g（7～14尾）
8	高知県四万十市	天然	四万十川	17,000	塩焼・冷凍	4～6尾
9	高知県四万十町	天然	四万十川	15,000	一夜干し	5尾
10	福井県勝山市	天然	九頭竜川	10,000	冷凍	300g（4～5尾）




高知県産は5産地がトップ10にランクイン



あゆの漁獲について

あゆの流通について

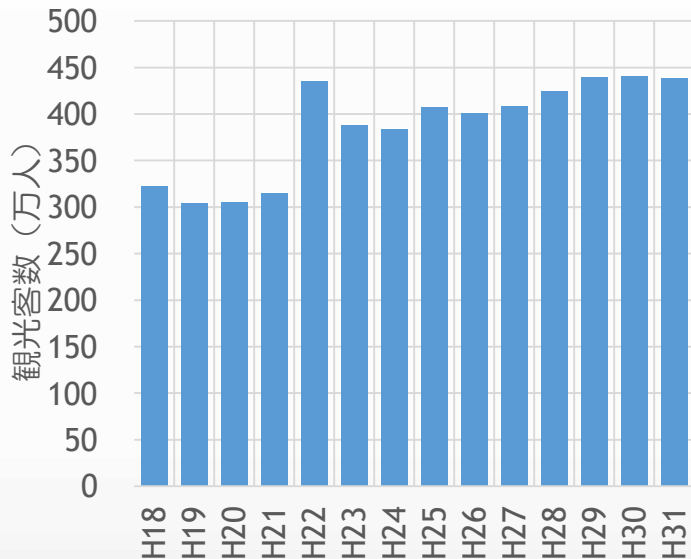
 内水面の観光について

県内外の取組事例



# 県外観光客の動向

## ◆県外観光客の推移



出典：県外観光客入込・動態調査報告書（観光政策課）

## ◆H22高知県観光客満足度調査

高知県に期待するもの（自然）

順位	目的	人数	割合 (%)
1	海	549	42
2	川	319	24
3	桂浜	195	15
4	岬	120	9
5	山関係	117	9
6	モネの庭	12	1
7	渓谷	7	1
合計		1,319	

高知県に期待するもの（食）

順位	目的	人数	割合 (%)
1	カツオ・たたき	885	60
2	海の幸	181	12
3	その他・ご当地グルメ	138	9
4	果物	124	8
5	皿鉢	53	4
6	川の幸	50	3
7	野菜等	47	3
合計		1,478	

期待した食を実際に食べておいしかったと感じた人の割合

順位	目的	期待人数	実食でおいしいと感じた人数	割合 (%)
1	川の幸	50	37	74
2	海の幸	181	132	73
3	その他・ご当地グルメ	138	97	70
4	カツオ・たたき	885	558	63
5	果物	124	73	59
6	野菜等	47	24	51
7	皿鉢	53	23	43
合計		1,478	944	

 川の期待度は高いが、川の幸の期待度は低い

 川の幸の「満足させる力」は高い

# 6次産業化の取組

## ◆漁業関連事業の年間販売金額及び事業体数（海面・内水面）

金額：百万円

	水産物直売所		漁家民宿・レストラン		水産物の加工	
	総額	事業体数	総額	事業体数	総額	事業体数
徳島	295	10	132	10	1,731	50
香川	213	20	x	x	4,451	30
愛媛	521	10	198	40	5,221	70
高知	115	0	101	20	775	30

金額：百万円

	農産物直売所		農家民宿・レストラン		農産物の加工（農協等）	
	総額	農業経営体数	総額	農業経営体数	総額	事業体数
高知	2,792	90	186	40	10,743	40

出典：H31農林水産省統計部第6次産業化総合調査報告

## ◆内水面の水産物直売所年間延べ利用者数

順位	都道府県名	水産物直売所の延べ利用者数	水産物直売所を運営する漁協数	施設数
1	北海道	134,900	8	8
2	静岡	40,300	5	11
3	新潟	39,500	8	10
4	高知	30,300	2	2
5	滋賀	28,400	10	10
6	愛知	25,500	4	5
7	千葉	23,800	3	3
8	三重	6,500	1	1
9	青森	5,600	3	6
10	島根	5,500	4	5

出典：2018年漁業センサス第7巻内水面漁業に関する統計



6次産業化の取組があまり進んでいない



直売所利用者数は多く、潜在ニーズは高い

# 県内のイベント関係

## ◆漁業関係のイベント入込人数

県内市町村の祭り・イベント入込状況（H31）

市町村数	祭り・イベント数	入込人数
31	95	2,242,049

うち漁業関係イベント

市町村名	イベント名	入込人数
土佐市	宇佐大鍋祭り	3,800
須崎市	新子まつり	10,000
	海の駅・須崎の魚祭り	6,000
香南市	どろめ祭り	12,000
中土佐町	かつお祭り	12,000
四万十町	四万十大正あゆ祭り	1,878
黒潮町	とさ佐賀のもどりガツオ祭	15,000

出典：H31高知県観光客入込調査

## ◆内水面漁協の行った漁業体験参加人数

順位	都道府県名	漁業体験の延べ参加人数	漁業体験を行った漁協数
1	宮崎	10,504	12
2	栃木	3,599	6
3	富山	3,164	6
4	山梨	2,222	4
5	奈良	2,180	6
6	山口	1,906	4
7	岐阜	1,830	8
8	群馬	1,790	6
9	東京	1,460	2
10	滋賀	1,407	13
11	埼玉	1,274	7
12	高知	1,255	5

出典：2018年漁業センサス第7巻内水面漁業に関する統計



あゆ関連のイベントはほとんどない



内水面漁業・川に親しんでもらう活動が十分でない

あゆの漁獲について

あゆの流通について

内水面の観光について



県内外の取組事例



# 岐阜県長良川の取組

## ◆世界農業遺産への登録

**世界農業遺産 (GIAHS)とは**  
正式にはGlobally Important Agricultural Heritage Systems (GIAHS:ジアス)といいます。その土地の環境を生かした伝統的な農林水産業や、生物多様性が守られた土地利用、農村文化や農村景観などが一体となり、維持保全が図られている世界的に重要な地域を後世に引き継ぐことを目的として、2002年にFAOにより創設されました。



## ◆長良川あゆパークの開設



**清流長良川の鮎**  
世界農業遺産  
清流の

**釣り堀体験**  
魚つり広場で、マス、イwana、アマゴを釣ります。  
釣った魚を捌いて、焼いて、食べる体験です。(全てセルフ調理)

**魚のつかみ取り体験**  
魚つかみとり広場で、魚のつかみ取り体験ができます。  
獲った魚を捌いて、焼いて、食べる体験です。(全てセルフ調理)

## ◆郡上鮎の地域団体商標登録

### 地域団体商標登録

郡上鮎は平成19年に地域団体商標に登録され、全国に郡上鮎をアピールするとともに、より一層の郡上ブランドとして地域に貢献しています。古くから「郡上鮎」として全国にその名が知られている郡上管内長良川水系のアユが、地域団体商標として登録されました。

※地域団体商標というのは、地域ブランドの育成・保護に資するため、漁協や農協等の団体に限って地域との密接な関係を有する商品に使用され、需要者に広く認識されている場合に地域団体商標として登録を可能とする制度で、商標法の一部を改正する法律が施行され、地域団体商標制度が導入されました。



# 県内の取組

- ◆豊洲市場への活魚出荷（よって西土佐）
- ◆あゆ友釣り体験ツアーの催行（鮎屋仁淀川、野根川漁協）
- ◆清流めぐり利き鮎会の開催（高知県友釣り連盟）
- ◆友釣り甲子園の開催（鏡川漁協、四万十町）
- ◆しゃくり漁体験（四万十中央漁協）
- ◆電子遊漁券の導入（県内3漁協）



# まとめ

## 課題

- 県内漁獲量の10%程度しか流通にのっていない
- 仁淀川・四万十川以外では安定した集荷・流通システムがない
- 釣り人からの川の認知度は全国有数だが、地理的ハンディから県外遊漁客は少ない
- 遊漁者に若齢層が少ない
- 「川の幸」の「満足させる力」は高いが、観光客に認知されていない
- 6次産業化の取組、あゆ関連イベント、川・あゆに親しんでもらう活動が十分でない

